



1 ★ ダニは乾燥が苦手！



湿度が下がると生きられない

ダニは乾燥が苦手。湿度が下がり、55%以下になればぐったり。多くのダニは、カラッとされた空気の中だと生きられなくなってしまいます。もちろん、食べ物がなくてもダメ。そのまま飢え死にという運命をたどるはず。キレイに掃除が行き届いた換気のいい部屋なら、ダニなんて怖くないのです。

2 ★ 畳のダニ退治



とにかく吸い取る！

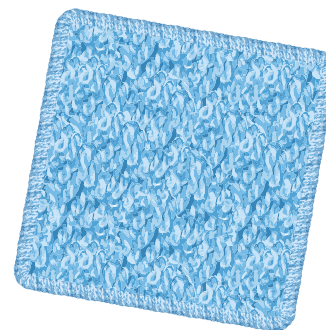
掃除機は畳目に沿ってかけること

てっとり早い方法が掃除機がけ。畳目に沿ってゆっくりかけるのがコツ。ダニとダニの糞や卵を吸い取ってしまえば、すっきり。畳の奥の方までは手が届かないものの、効果は確実です。特に、ホコリが集まりやすい部屋の隅、家具のまわりなどは、念入りに掃除機がけを。部分的にすき間用ノズルを使い、汚れを残さないようにして。換気をよくすることも、忘れないで。

日干しに防虫シート。あの手この手でダニ撃退

畳のダニを徹底的に退治するなら、掃除機がけに加え、次のことも実行したい。まず天日干し。ダニは高温が苦手、温度が50度になるとダウン。5分以内にはあの世へいっちゃう。そこで、天日干しして畳の中が50度になれば、住みついていたダニもかなり減らせます。表裏共に十分日に当てたら掃除機をかけ、ダニの死骸などを取り除いて。半年に1回くらいのペースで天日干しすれば、湿気が取れ、いい環境を保てます。ダニの被害に悩まされているお宅なら、あともうひとガンバリ。畳をあげたついでに、防虫シートを敷きます。掃除機をかけ、天日干し、防虫シート、このトリプル作戦はかなり強力。さすがのダニも惨敗です。

3 ★ カーペットのダニ退治



ダニが住みにくいカーペット選びから

カーペットも、ダニが好む場所。特に、敷きつめタイプのカーペットは湿気を含みやすく、しかも簡単に洗えないのが悩みの種。それなら、できるだけ通気性の良いものを選びたい。素材でいえば、ウールよりも湿気を吸いにくい化繊。パイルの形で選ぶ場合は、糸が切りっぱなしのカットタイプより、ループ状になったループタイプがマル。こちらの方が通気性がよく、汚れを取るのもスムーズです。いちばんのおすすめは、タイルタイプのカーペット。ミニサイズだから、天日干しや水洗いも可能で、ダニ退治が手軽にできます。

毛足を起こしながら掃除機がけ

カーペットのダニ退治に欠かせないのが掃除機がけ。それも、ただ無造作にかけるだけではダメ。ダニを吸い取るコツがあるんです。毛足を起こすように、ゆっくりと。ダニは、つぶれた毛足の陰にひそんでいる確率が高いもの。だから、まず毛足を立ち上げ、ダニや汚れを吸い取りやすくすることが肝心なのです。しかも、方向をいろいろ変えながら掃除機を動かすこと。まずは縦、そして横、さらに斜め方向に動かせば合格点。各方向から攻められたダニは、隠れる場所がなくなり、掃除機の中へ吸い込まれるというしくみ。

ポイント

- カーペットの端の方は、隙間用ノズルを使って。
- 毛の流れと逆方向へ動かしながら、ダニをキャッチして。